

令和5年度

国立療養所星塚敬愛園
病棟玄関スロープ及び屋根増設工事

設計 株式会社 徳留設計事務所

国立療養所星塚敬愛園	部長	課長	班長	担当	株式会社 徳留設計事務所		一級建築士登録 第292526 徳留 勇				
					住所	〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿五丁目9番6号 TEL 0994-44-9785	製図	構造	計画	担当	検図
					登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65					

国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関スロープ及び屋根増設工事

番号	図面番号	図 名	縮尺
	(建 築)		
00	A - 00	表紙	
01	A - 01	図面リスト	
02	A - 02	建築改修特記仕様書その 1	
03	A - 03	建築改修特記仕様書その 2	
04	A - 04	全体配置図・附近見取図	
05	A - 05	配置図	
06	A - 06	スロープ 平面図・屋根伏図	
07	A - 07	スロープ 断面図・上屋基礎伏図	
08	A - 08	上屋詳細図・手摺詳細図	

備 考		訂 正	月 日		株式会社 徳留設計事務所	一級建築士登録 第292526 徳留 勇					工事名	国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関ｽﾎﾟｰﾌﾞ及び屋根増設工事			1 / 8	No. A-01						
	月 日			製 図 構 造 計 画 担 当 検 図							図面名	図面リスト		縮尺	N S							
	月 日											登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65					部局名	国立療養所 星塚敬愛園			
	月 日																					
	月 日																					

建築改修工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名

国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関Ro-7 及び屋根増設工事

2. 工事場所

鹿児島県鹿屋市星塚町4204番地

3. 工期

契約書による

指定部分

・有・無

対象部分（

）

指定部分工期

年

月

日

4. 工事種目

◎総合発注

・外構工事

5. 敷地面積

371.790.24 m2

6. 地域指定

・第二種低層住居専用地域・第一種中高層住居専用地域・第二種中高層住居専用地域・第一種住居地域・第二種住居地域・準住居地域

○地域指定無

7. その他の指定

・

II. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）「建築工事標準詳細図（平成28年版）」（以下、「標準詳細図」という。）「建築物解体工事共通仕様書・同解説（令和4年版）」「工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編（平成24年版）」による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項に選択肢がある場合は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は共に適用する。

3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

5) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たす物品を示す。

6) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令（条例を含む）の改正等によりこれらに抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

章

項 目

特記事項

1各章共通事項

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

○風圧力

風速（Vo= 38 m/s）

地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）※構造図による

・積雪荷重

平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（ ）

・電気保安技術者

※適用する

(1.3.3)

・施工条件

原則として行政機関の休日に行工の施工を行わない。

下記以外は現場説明書による。

(1.3.5)

・工事用車両の駐車場所（※図示（ ））

・資機材置場（※図示（ ））

・建設発生土仮置場（※図示（ ））

・工事時間（※図示（ ））

・施工工程（※図示（ ））

○発生材の処理等

○特定建設資材の分別解体等及び再資源化等

(1.3.10) (1.3.11)

本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第04号、以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。

・有価発生材（鉄骨、鉄筋、金属類等）は、物品管理官へ引き渡すこと。

章

項 目

特記事項

○環境への配慮

(1.4.1) [1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種・第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○材料の品質等

(1.4.2) [1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、(1.4.2) [1.4.2] 通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

・[品質・性能・試験その1] [同その2]に記載する材料・図示（ ）

・特定工事

特定工事とは、医療関係（福祉施設含む）工事の中で、その工事の不備が原因で直接人命に危険を及ぼすおそれのある工事であり、次のとおりとする。

防火区画部分の穴埋め、縦穴区画等防災に重要な部分の施工（防火区画、114条区画）放射線防護に関わる部分の施工、シールド工事、その他これらに類する工事で監督職員が指定する工事又は工事部分

特定工事の施工

a) 施工に当たっては、あらかじめ入念に施工計画をたて、当該工事の施工に直接従事する作業員等関係者の指導監督に特に留意するほか、施工管理責任者を定めて、工事完了後に施工状況を確認する。

b) 工事ごとに設計図書に指定された試験、検査、確認等を完全に実施して安全確認をした後、特定工事施工報告書を監督職員に提出し、承諾を受ける。

・室内空気中の化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、(1.5.9) スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象室及び測定箇所数 ※仕上表による・図示

着工前の測定・行う

※測定は、パッシブ型採集機器により行う。

・測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。

○設計図書

※設計図縮小版（A3判）を背貼製本の上監督職員に提出する。

(大冊になる場合は分冊とする。表紙及び背表紙には「施設名」、「工事名」、「年度」を記載し、『設計図』との表記をすること。詳細は監督職員の指示による。

建築・部

建築、設備合本 ◎3部・部

※印刷・製本費用は受注者負担とする。

○完成時の提出図書

(1.7.1)

◎完成図(1.7.2)

建築工事等

CADデータ 提出部数：※2部・部

A3判第2原図 提出部数：※1部・部

複写図（製本） 提出部数：※2部・部

A4ファイル綴じ 提出部数：※1部・部

データ 提出部数：※2部・部

◎保全に関する資料(1.7.3)

提出部数：※1部・部

(「建築物等の利用に関する説明書」を除く) データ 提出部数：※2部・部

※グリーン購入法に関する資料 提出部数：※1部・部

データ 提出部数：※2部・部

◎施工図

CADデータ 提出部数：※2部・部

A1判原図 提出部数：※1部・部

◎工事概要書

A4クリアファイル 提出部数：※2部・部

○完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数 形式・サイズ 提出枚数 画素数、画質等

・外観正面1箇所

・カラー印刷紙キャビネ版 ※2・(4500×3000ピクセル

・外部(4)箇所

・カラー印刷紙キャビネ版 ※2

・内部()箇所

・A4アルバム綴じ・() 行ったもの

・電子データ(JPEG700dpi圧縮率1/4程度) ※2・()

※1

・カラー製版A半切(324×400mm) ※正面のみ

・外部()箇所

・カラー印刷紙キャビネ版 ※2

・内部()箇所

・A4アルバム綴じ・()

・電子データ(JPEG700dpi圧縮率1/4程度) ※2

デジタルカメラの設定

撮影者は任意

・()

※1:撮影者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者

※写真に係わる権利は、国に属するものとする

(2.3.1)

・設ける(規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。)

※設けない(ただし、打合せのできるスペースを確保する。)

・監督職員事務所

章

項 目

特記事項

2仮設工事

・技能士

技能士を配置する工事(1.5.2)

工事種目 技能検定職種 技能検定作業

仮設工事 とび ・とび作業

鉄筋工事 鉄筋施工 ・鉄筋組立作業

コンクリート工事 型枠施工 ・型枠工事作業

コンクリート圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業

鉄骨工事 鉄工 ・構造物鉄工作業

とび ・とび作業

コンクリートブロックALC等 ブロック建築 ・コンクリートブロック工事作業

押出成形セメント板工事 エムシート板施工 ・エムシート板工事作業

防水工事 防水施工 ・防水シート防水工事作業

・防水ゴム系塗膜防水工事作業

・塩化ビニル系シート防水工事作業

・シーリング防水工事作業

・改質防水シート工法防水工事作業

・FRP防水工事作業

・ウレタン系塗膜防水工事作業

・合成ゴム系シート防水工事作業

・セメント系防水工事作業

石工事 石材施工 ・石張り作業

タイル工事 タイル張り ・タイル張り作業

木工事 建築大工 ・大工工事作業

屋根及びとい工事 建築板金 ・内外装板金作業

金属工事 鋼製下地工事作業

建築板金 ・内外装板金作業

左官工事 左官 ・左官作業

建具工事 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業

ガラス施工 ・ガラス工事作業

自動ドア施工 ・自動ドア施工作業

カーテン工事 カーテン施工 ・金属製カーテンホルム工事作業

サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業

ガラス施工 ・ガラス工事作業

塗装工事 塗装 ・建築塗装作業

内装工事 内装仕上施工 ・プラスチック系床仕上げ工事作業

・カーペット系床仕上げ作業

・ボード仕上工事作業

・壁張作業

排水工事 配管 ・建築配管作業

舗装工事 路面表示施工 ・溶解ペイント作業工事作業

・加熱ペイント作業工事作業

植栽工事 造園 ・造園工事作業

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

取合い区分 建築 電気設備 機械設備

開口部及び貫通部 S、SRC造梁の貫通部 補強及びスリーブ ○

R C造梁の貫通部 補強 ○

R C造床及び壁の貫通部 補強 ○

スリーブ ○

型枠 ○

補強 ○

デッキプレート貫通部 補強 ○

切り込み ○

軽量鉄骨地下天井及び壁の開口部 補強 ○

補強を要する切込み ○

補強を要しない切込み ○

穴埋め補修 ○

撤出し ○

○

○

○

機器的基礎

屋内設置 ○

屋上設置 ○

(梁台、アンカボルトを除く)

屋内設置 ○

(梁台、アンカボルトを除く)

梁台、アンカボルト ○

特記した基礎 ○

○

○

外部取付ガラリ(ダクト、ファン等の接続用フックを含む) ○

換気扇の取付枠 ○

床下水槽のマニホール蓋 ○

流し台(排水トラップ共) ○

湯沸室の排気フード ○

床、天井点検口 ○

オイルサービスタンクの防油掘 ○

駆動装置が電動の建具類の2次配線及び操作スイッチ ○

自動閉鎖装置取付個所の切込み及び補強 ○

あと施工アンカー工事

6章および8章による

コア抜き、はつり工事等

※既存資料調査

○探査機(電磁波レーダー法又は電磁波誘導法)による探査

配管、配線等の位置の掘出しを行う

範囲 ※図示・()

・放射線透過試験

労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規則」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか、次による。

(1)作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。

(2)放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。

(3)露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。

(4)付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。

(5)躯体の掘出しは、表裏でズレないように措置を講ずる。

撮影枚数()枚

フィルムサイズ()

コンクリート厚さ()cm

項 目

特記事項

・騒音・粉じん等の対策

[2.1.3]

・防音パネル

・防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

・工に必要な範囲・()

○足場等

[2.2.1] [表2.2.1]

・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場 ○設置する(設置範囲・工に必要な範囲・)

・設置しない

防護シート ・設置する(設置範囲・工に必要な範囲・)

○設置しない

内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等・)

・設置しない

・材料、撤去材等の運搬方法

種別(・A種・B種・C種・D種・E種)

C種:利用可能なエレベーター()

D種:利用可能な階段()

○既存部分の養生

[2.3.1]

1)養生方法等

○既存部分養生方法(・養生シート)

・既存家具、既存設備等養生方法(・※ビニルシート等)

・既存ブラインド、カーテン等養生方法(・ビニルシート等・)

保管場所(・図示・)

・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示・)

2)既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

備

考

訂正

月 日

月 日

月 日

月 日

月 日

株式会社 徳留設計事務所

住 所 〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿五丁目9番6号

TEL 0994-44-9785

登録番号 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65

一級建築士登録 第292526

徳留 勇

製 図 構 造 計 画 担 当 検 図

工 事 名 国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関Ro-7 及び屋根増設工事

図 面 名 建築改修工事特記仕様書【その1】 縮 尺 N S

部 局 名 国立療養所 星塚敬愛園

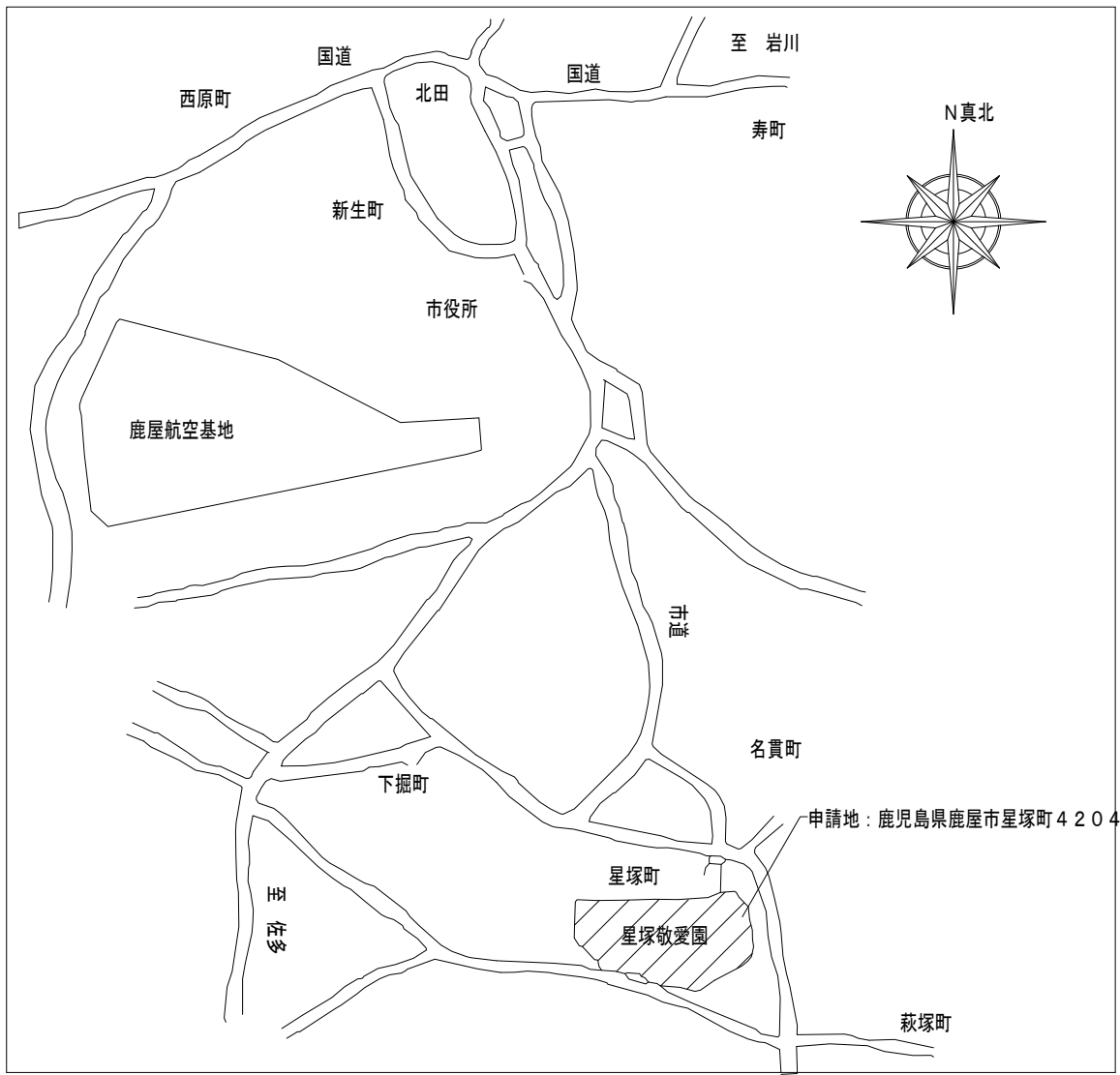
28枚の内

No. A-02

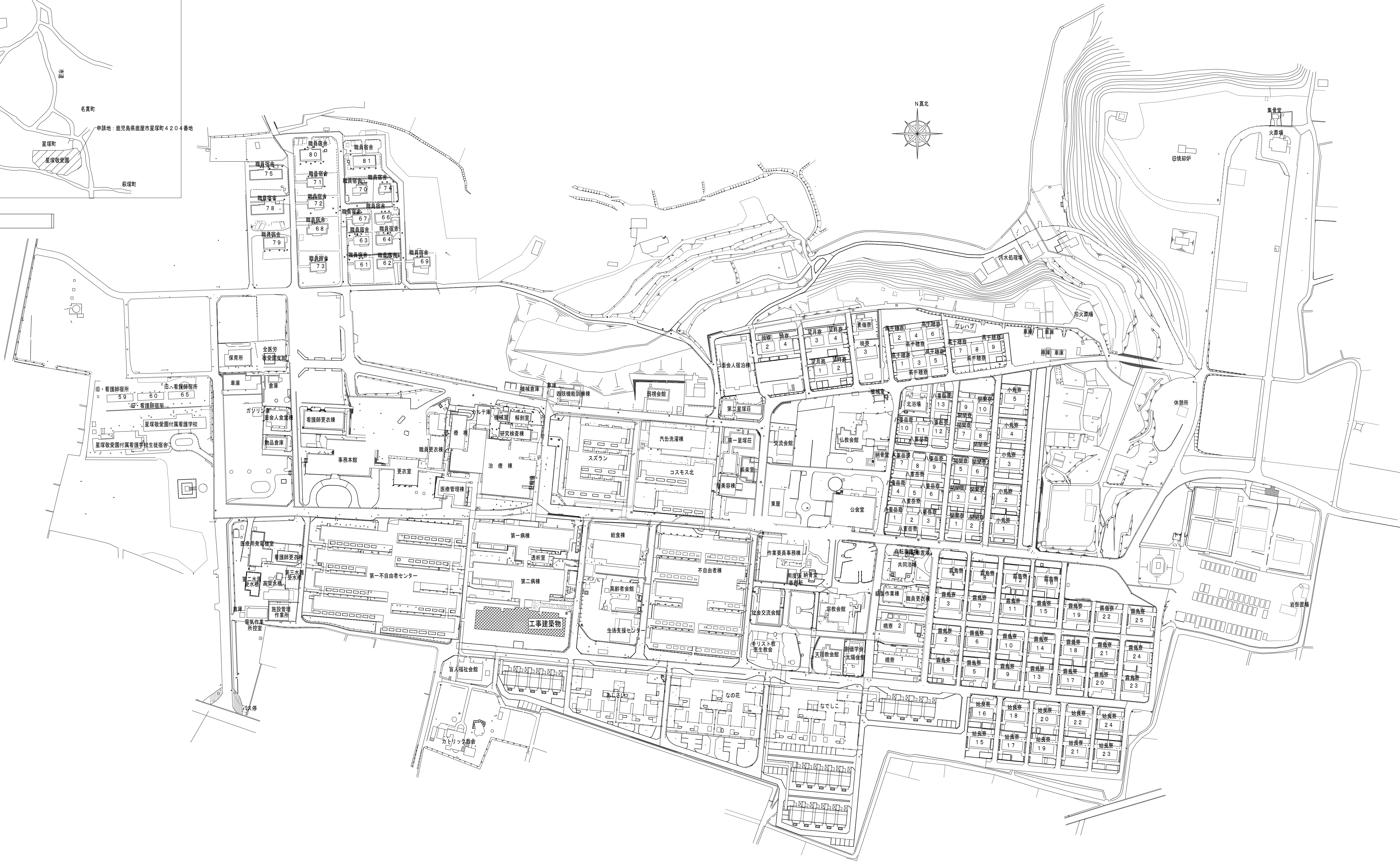
図 面 番 号

[illegible]

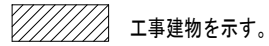
備考	月 日		株式会社 徳留設計事務所		一級建築士登録 第292526				工事名	国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関20-7'及び屋根増設工事			3/8	No.			
	月 日				徳留 勇					製 図 構 造	計 画	担 当			検 図		
	月 日		住 所	〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿五丁目9番6号 TEL 0994-44-9785									図面名	建築改修工事特記仕様書〔その2〕		縮尺	N S
	月 日		登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65						局部名	国立療養所 星塚敬愛園			図 面 番 号			
	月 日																



付近見取図



凡例



工事建物を示す。

全体配置図 S=1/1500

0 50m 100m
縮尺 1/1500

備考	

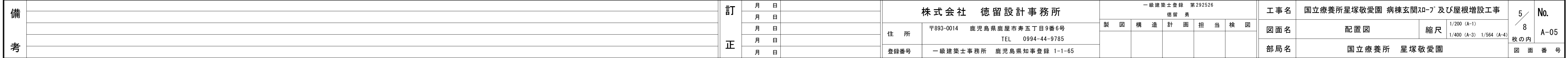
訂正	月 日
	月 日
	月 日
	月 日
	月 日

株式会社 徳留設計事務所	
住 所	〒893-0014 鹿児島県鹿児島市寿五丁目9番6号 TEL 0994-44-9785
登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65

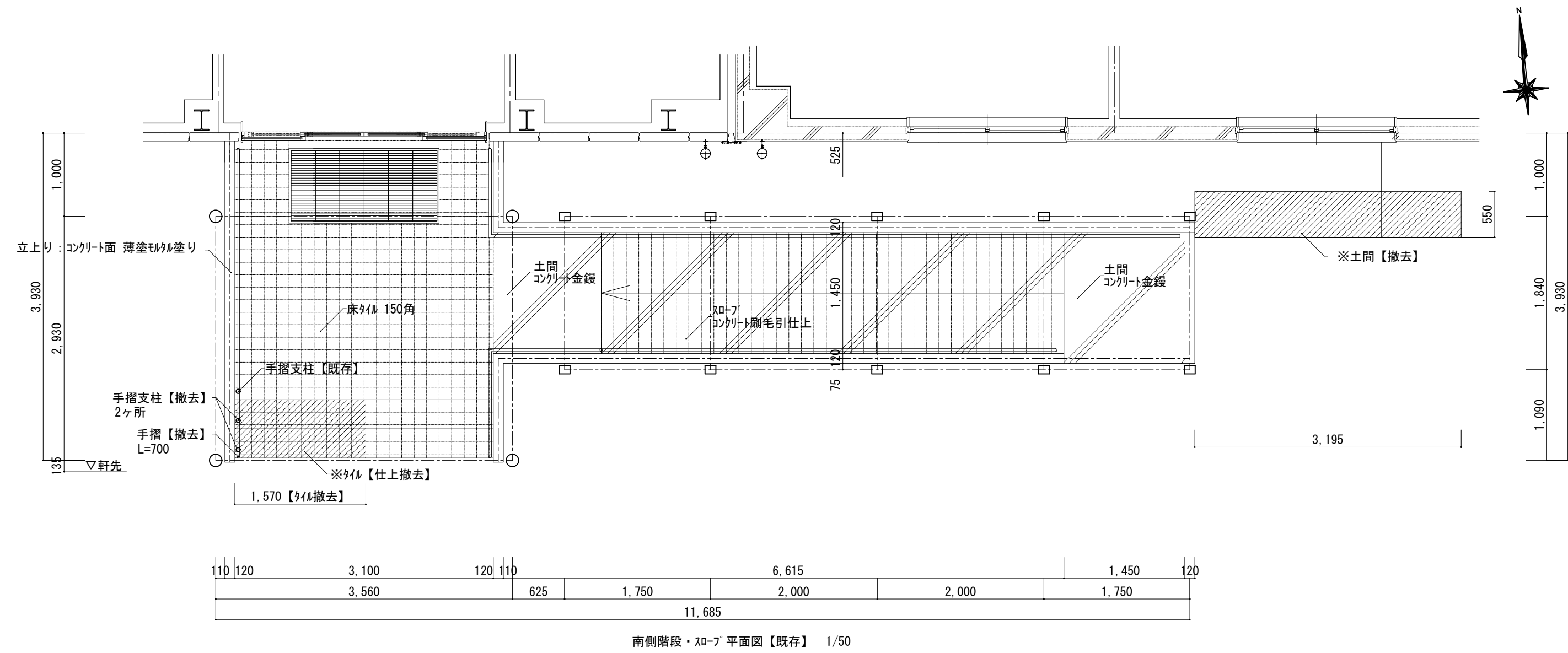
一級建築士登録 第292526 徳留 勇	
製 図	構 造
計 画	担 当
検 図	

工事名	国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関ロ-7 及び屋根増設工事		
図面名	全体配置図・付近見取図	縮尺	1/1500
部局名	国立療養所 星塚敬愛園		

No.	4
8	
枚の内	
図面番号	A-04

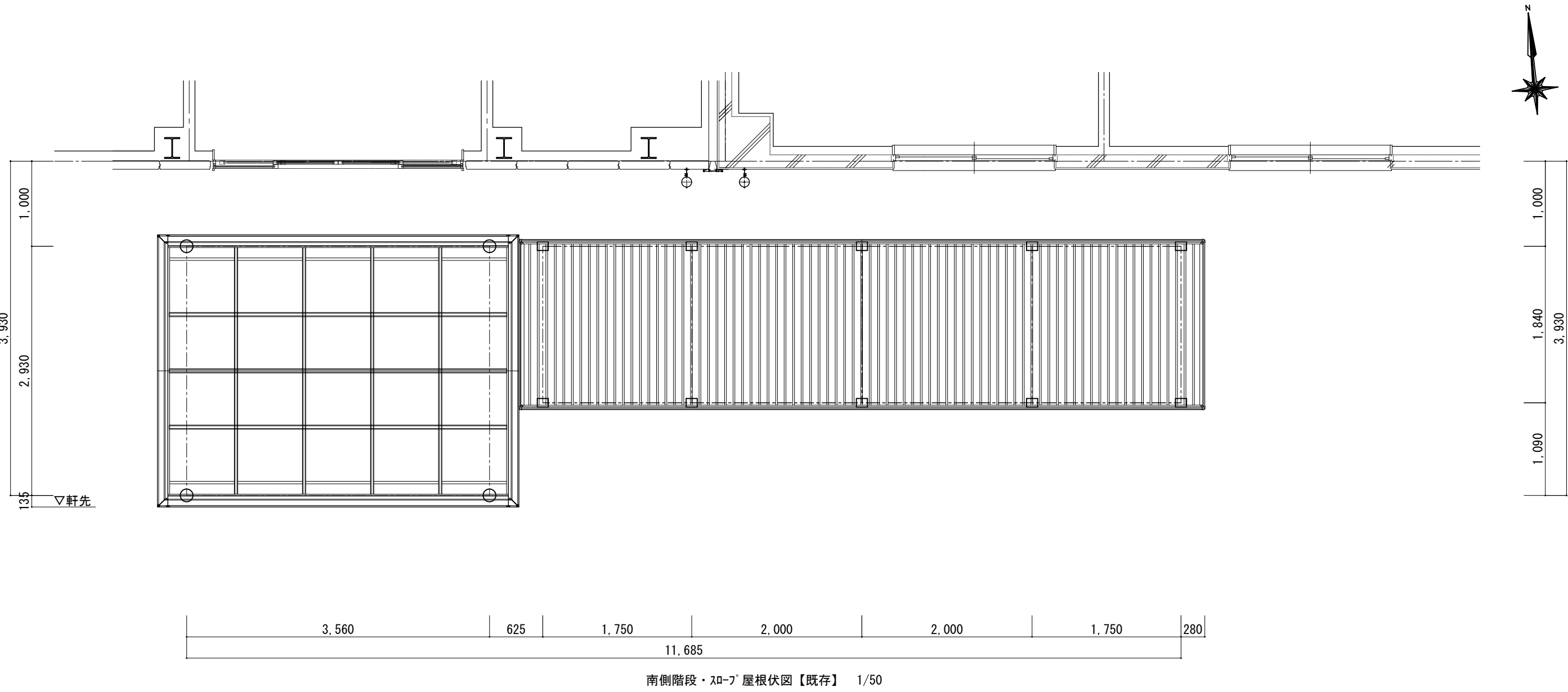


既存平面図 1/50

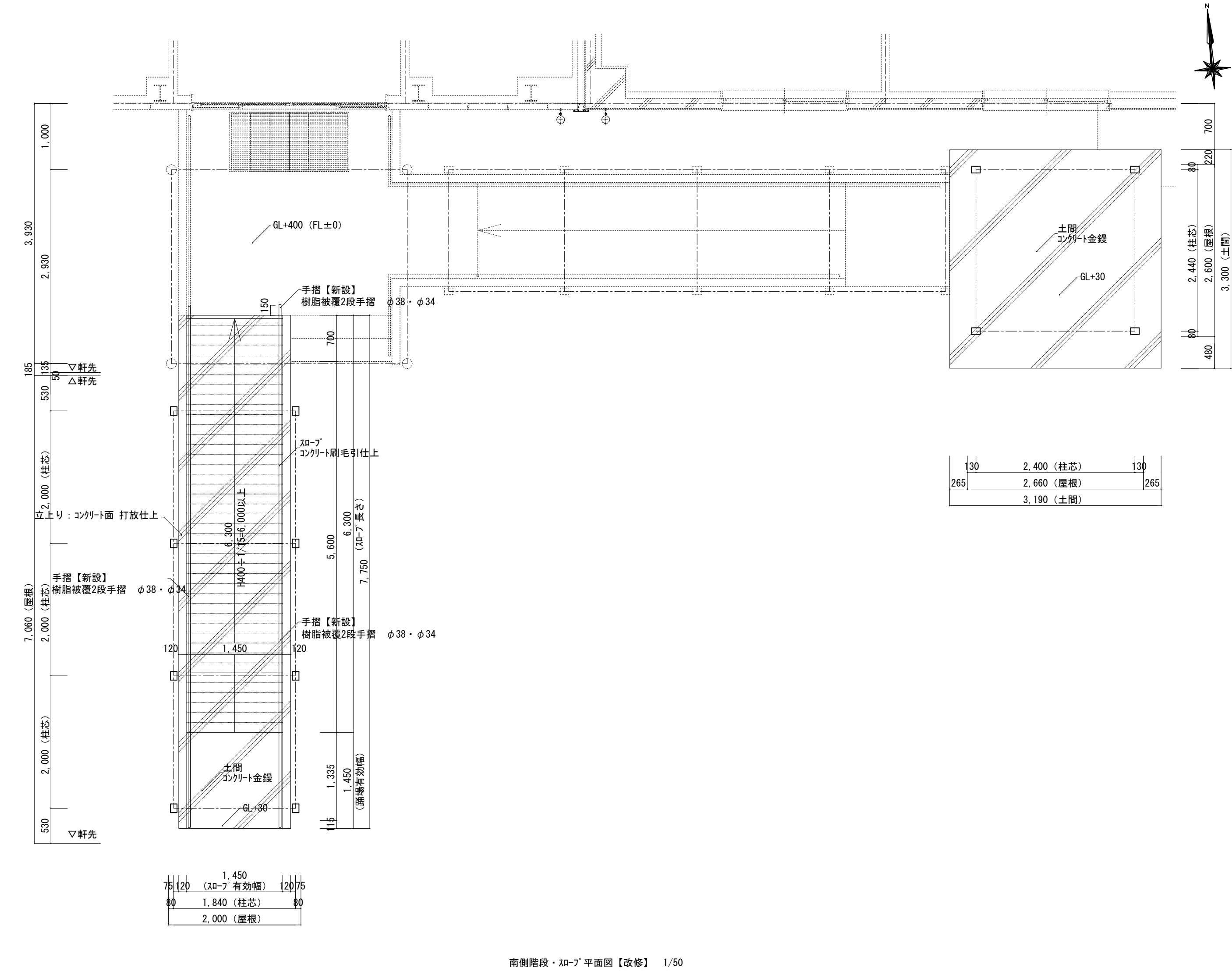


※撤去手摺部材については再利用可とする。

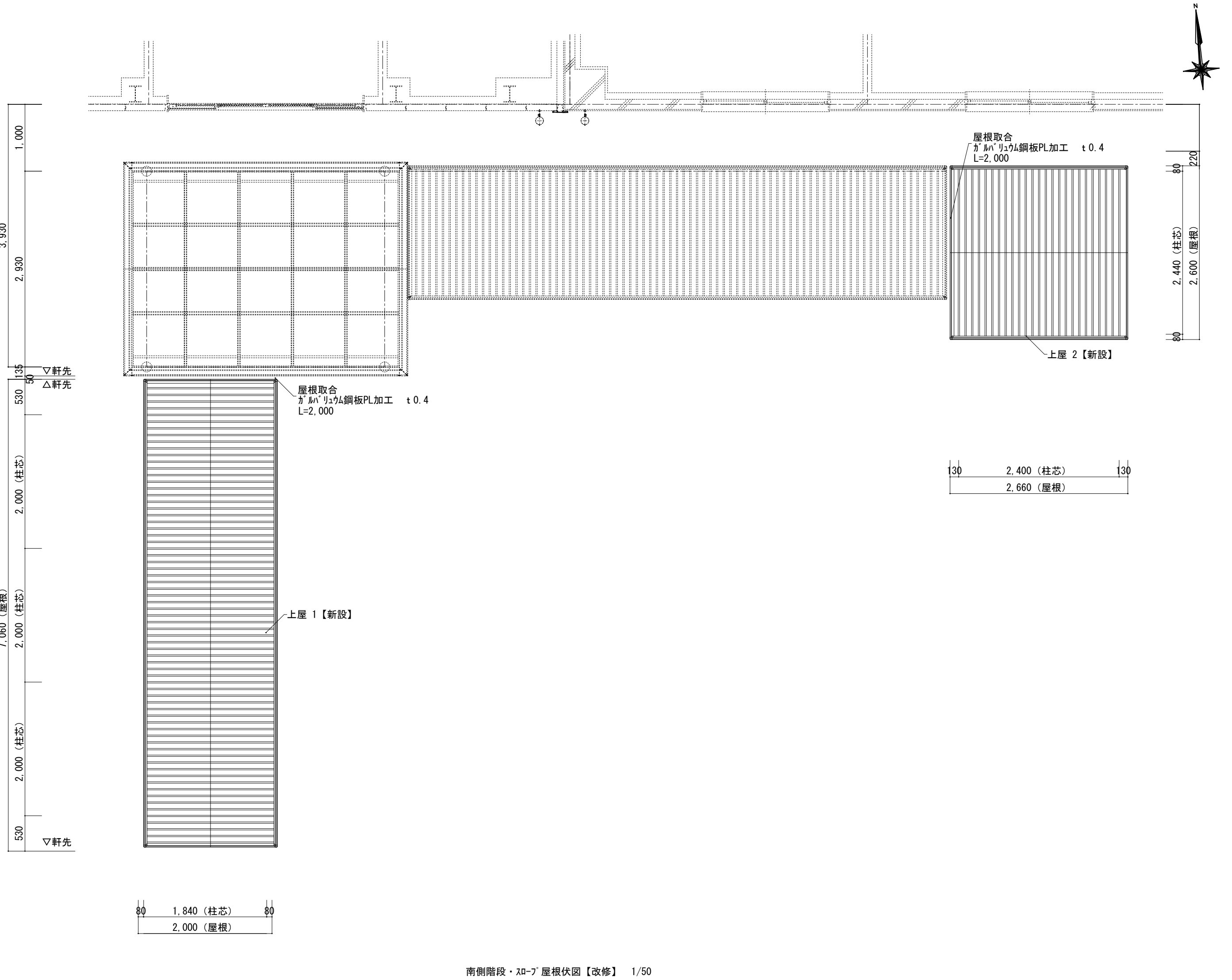
既存屋根伏図 1/50



改修平面図 1/50

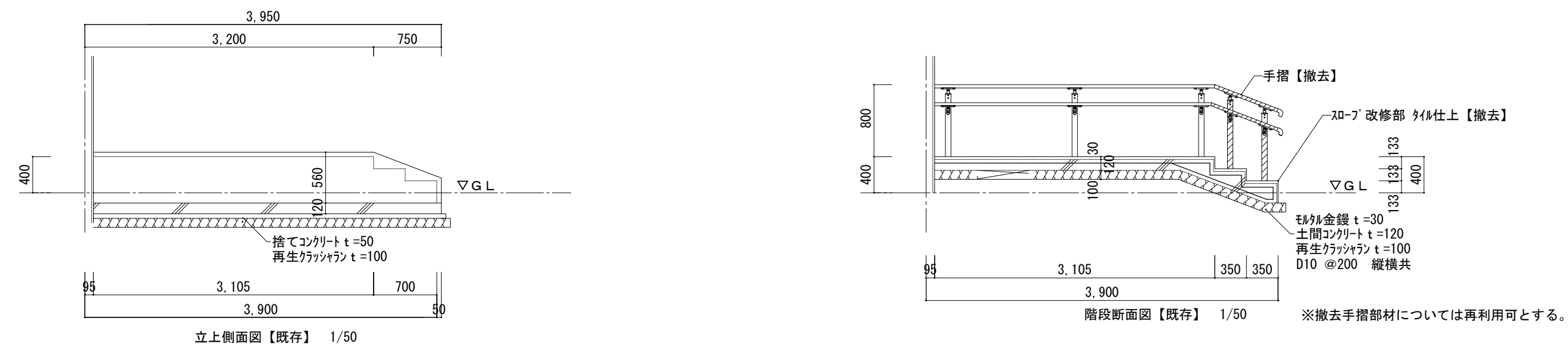


改修屋根伏図 1/50

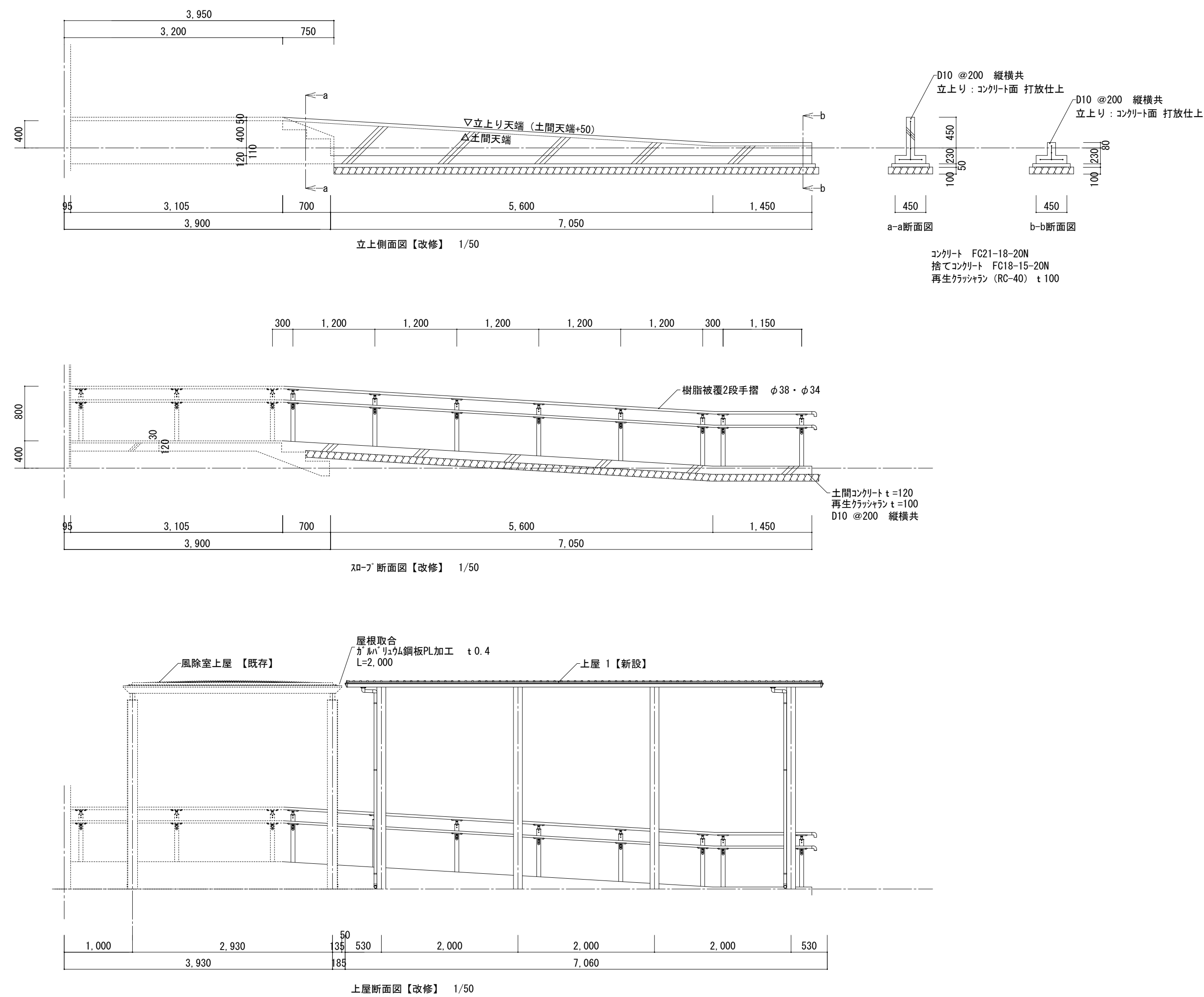


備考	訂正	月 日	株式会社 徳留設計事務所		一級建築士登録 第292526 徳留 勇				工事名	国立療養所星塚敬愛園さくら病棟			No.
		月 日			製 図 構 造 計 画 担 当 検 図				図面名	ｽﾎｰﾌﾞ改修平面・屋根伏図		縮尺	
		月 日	住 所	〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿五丁目9番6号 TEL 0994-44-9785				部局名	国立療養所 星塚敬愛園				
		月 日	登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65									
		月 日											

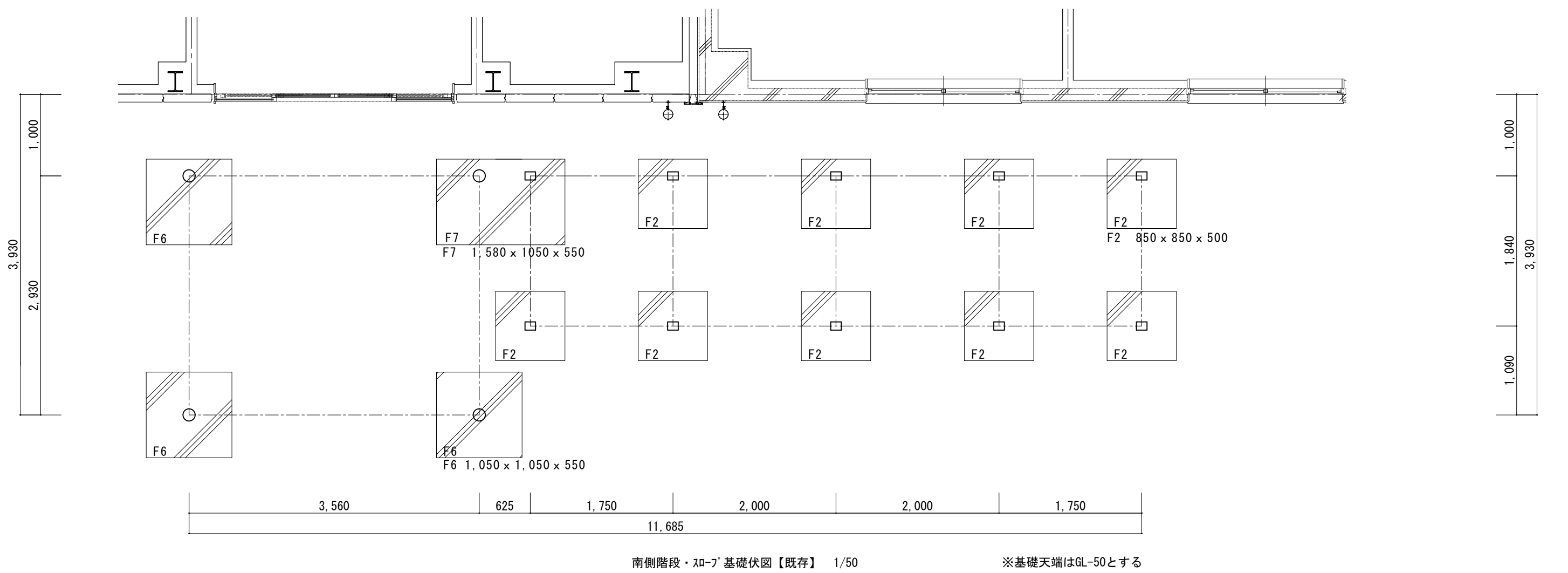
断面図【既存】1/50



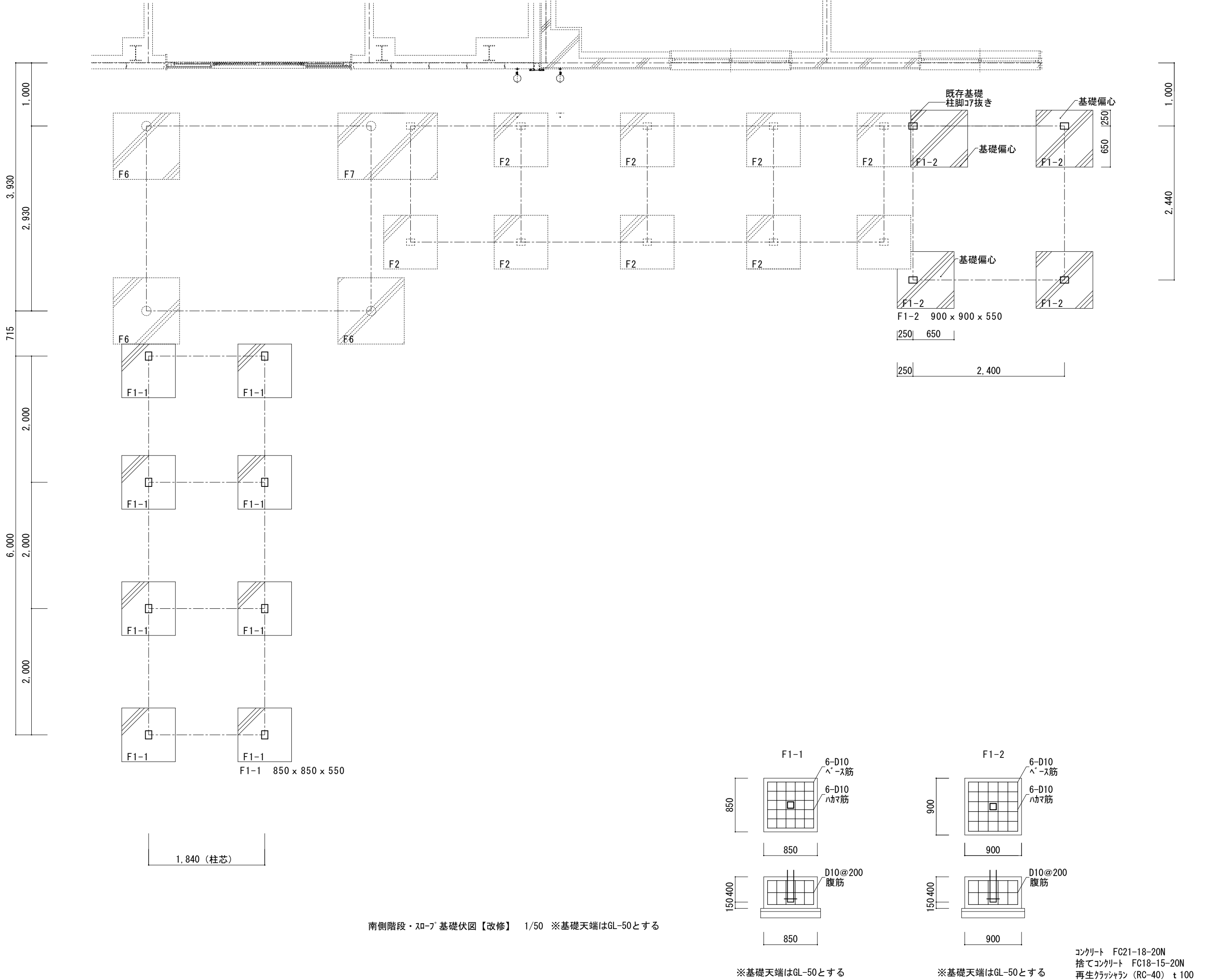
断面図【改修】1/50



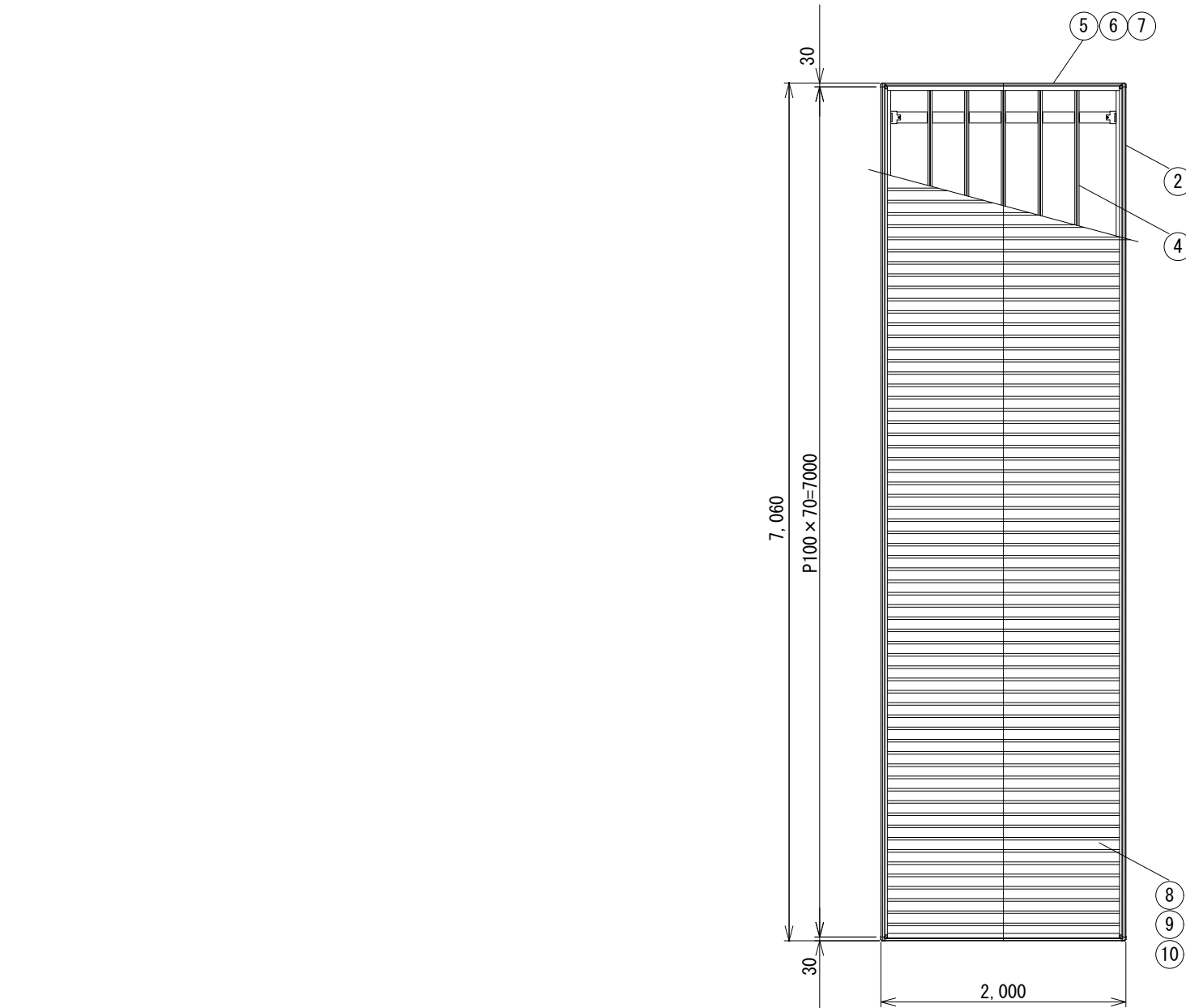
基礎伏図【既存】 1/50



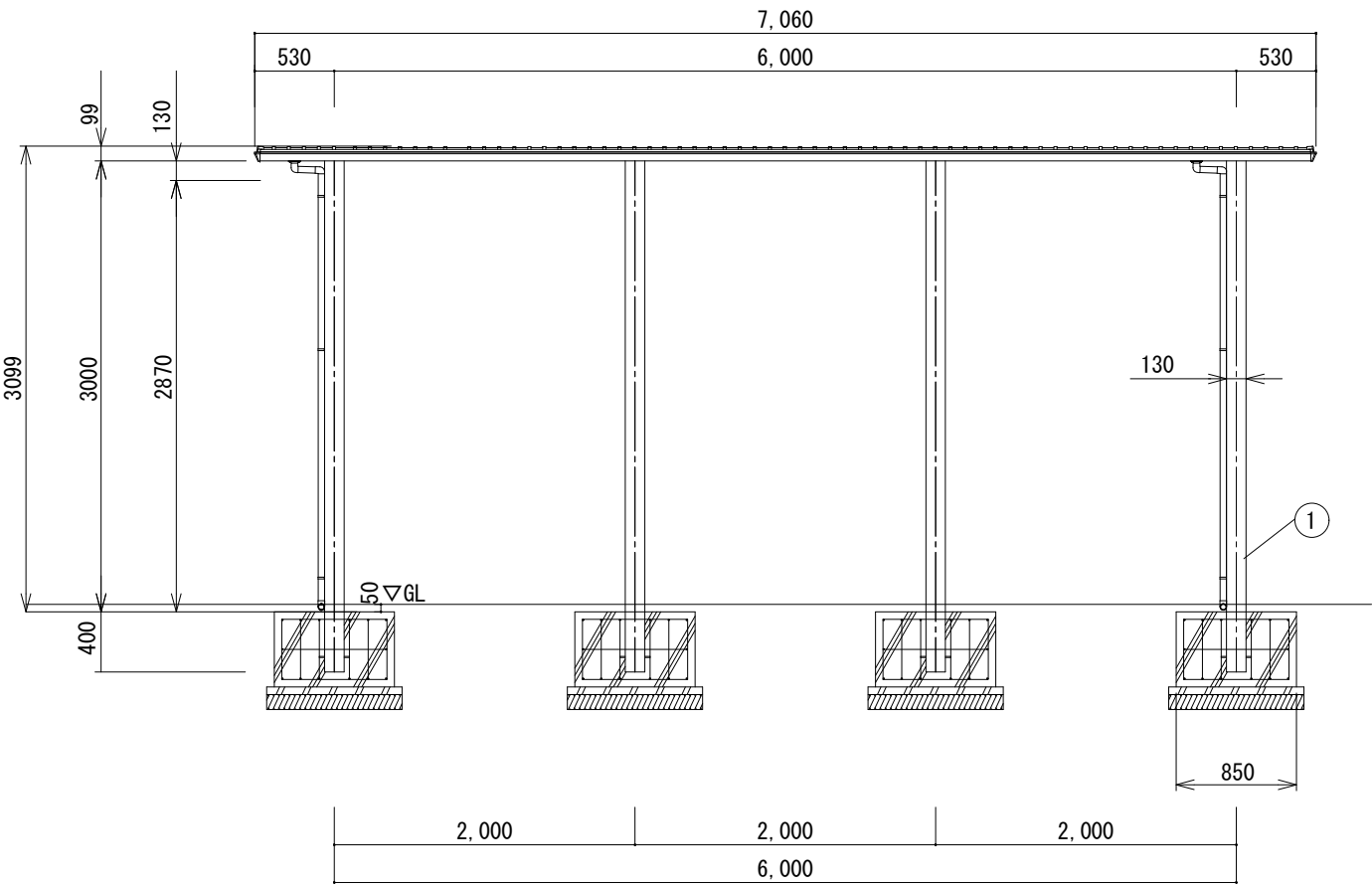
基礎伏図【改修】1/50



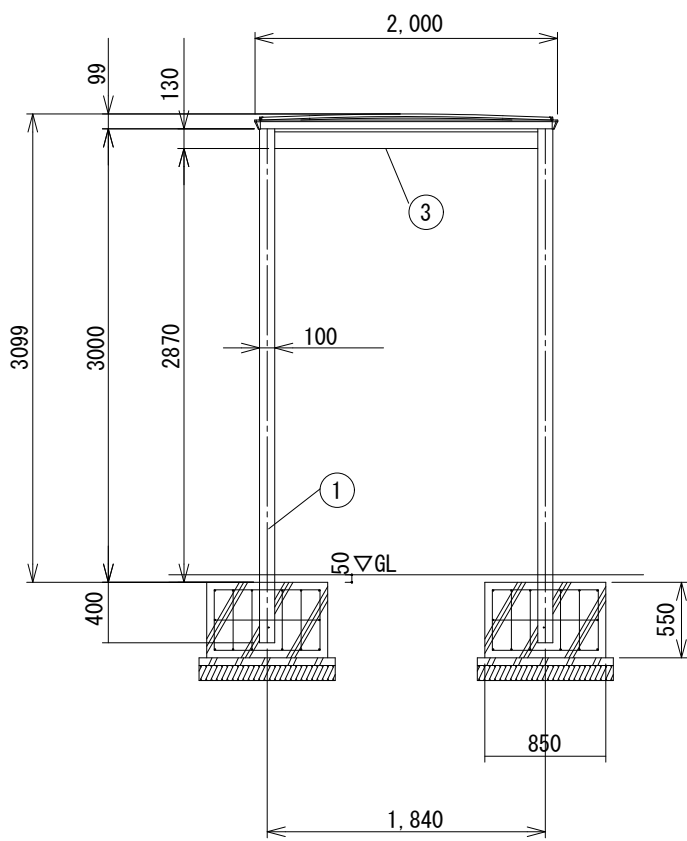
備 考	訂 正	月 日		株式会社 徳留設計事務所	一級建築士登録 第292526 徳留 勇				工事名	国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関ロ-7'及び屋根増設工事			7/8 枚の内	No. A-07
		月 日			製 図 構 造 計 画 担 当 検 査									
		月 日										住 所	〒693-0014 鹿児島県鹿屋市寿五丁目9番6号	
		月 日											TEL 0994-44-9785	
		月 日											登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65



屋根伏図 1/50

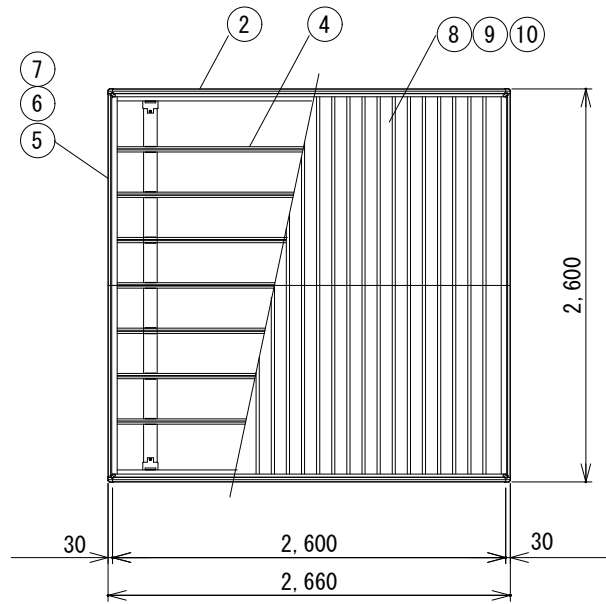
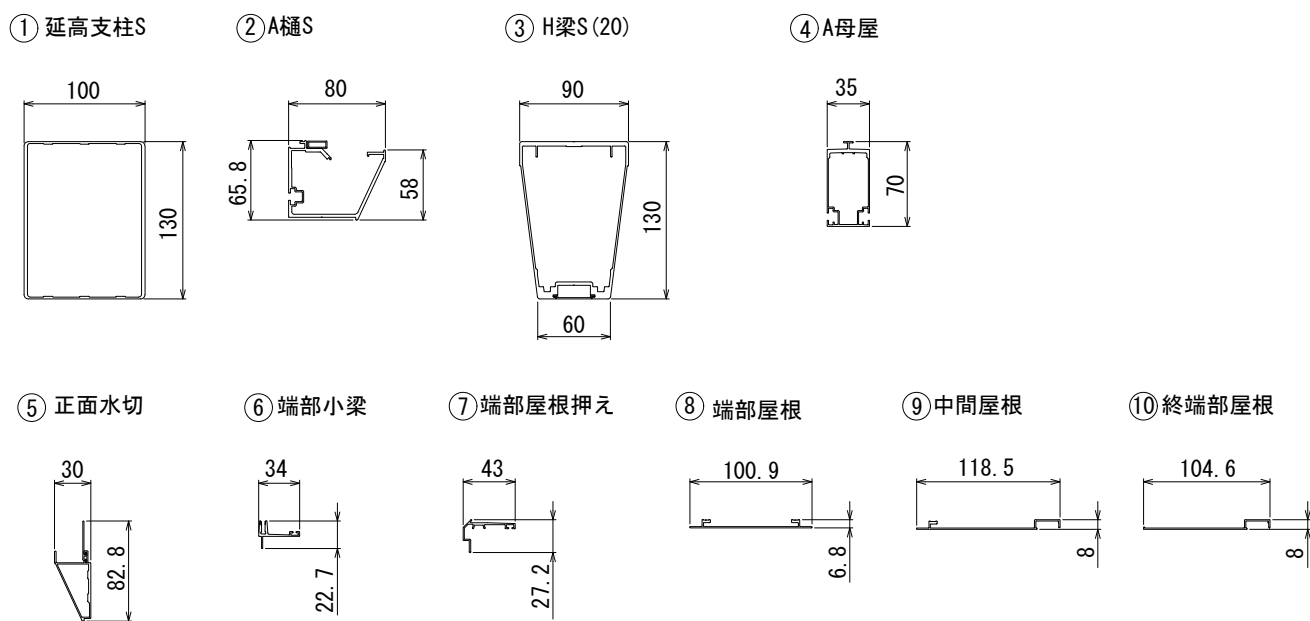


立面図 1/50

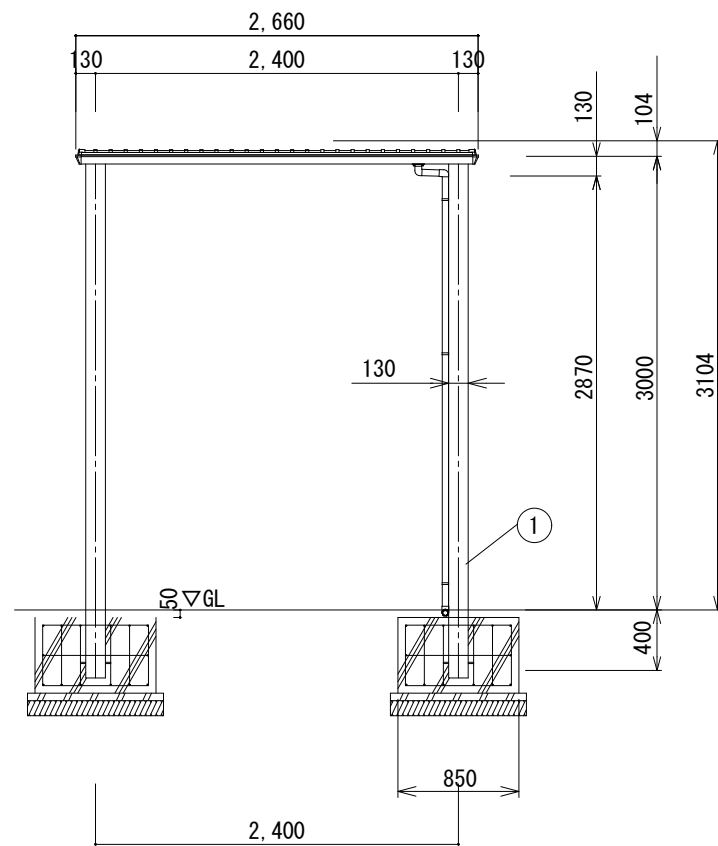


立面図 1/50

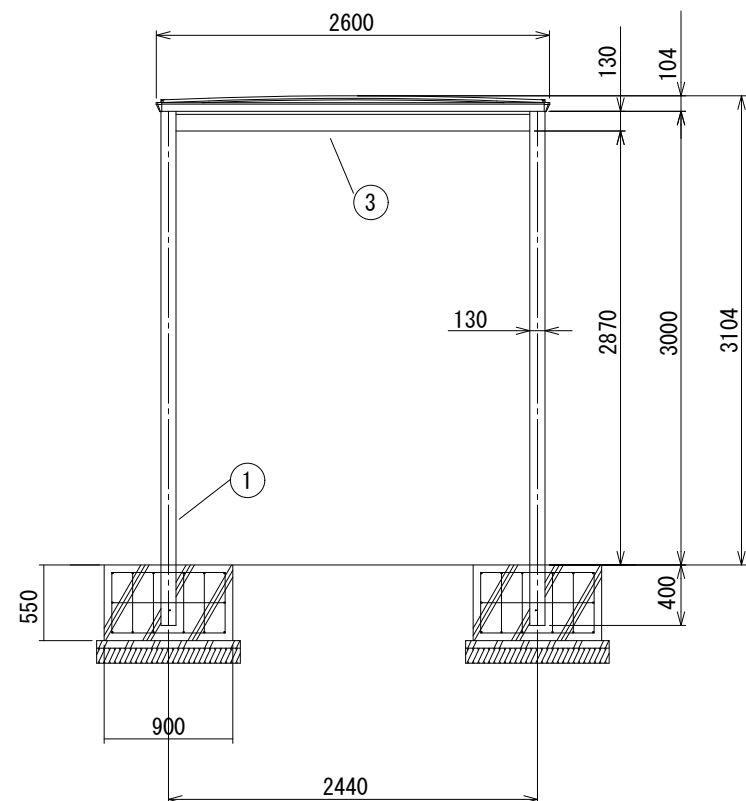
ｽﾛｰﾌﾞﾌｻｲﾌﾞ 600N/㎡ 同等品 V0=38m/S仕様	
ボルト・ナット・座金	ステンレス
取付金具	一般構造用圧延鋼材
⑩ 終端部屋根	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑨ 中間屋根	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑧ 端部屋根	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ 端部屋根押え	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 端部小梁	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 正面水切	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ A母屋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ H梁S(20)	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② A種S	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 延高支柱S	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜



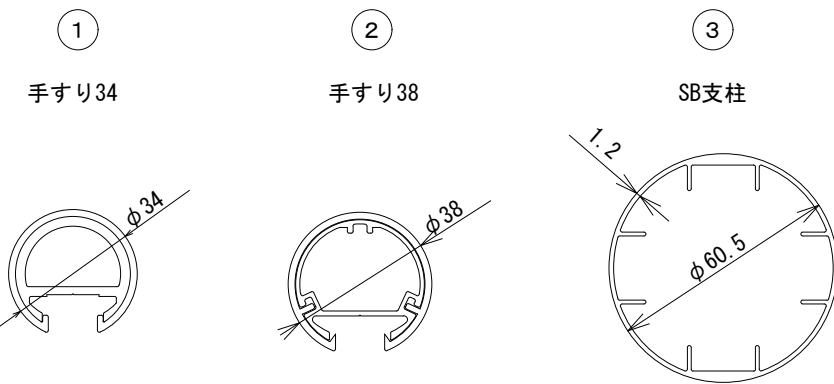
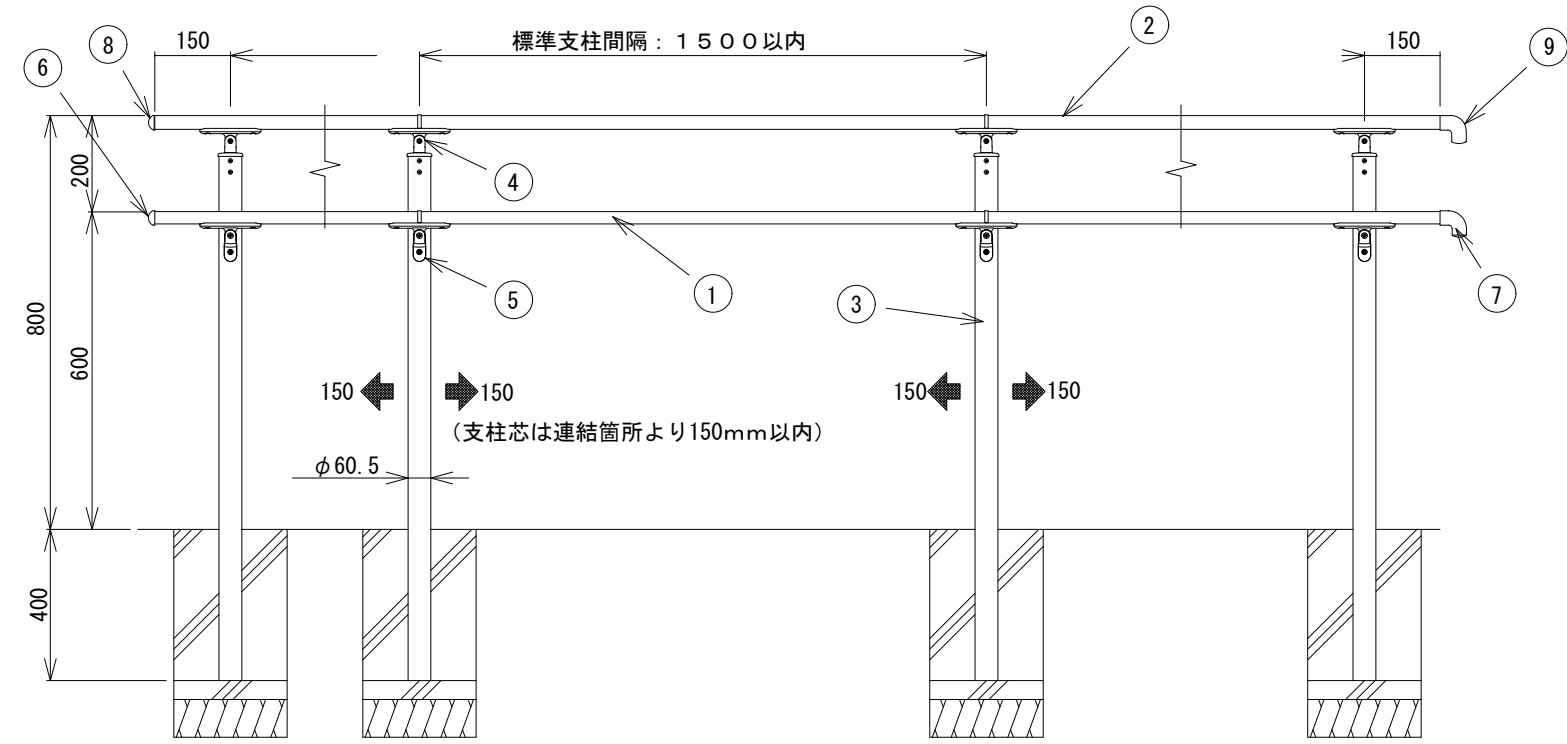
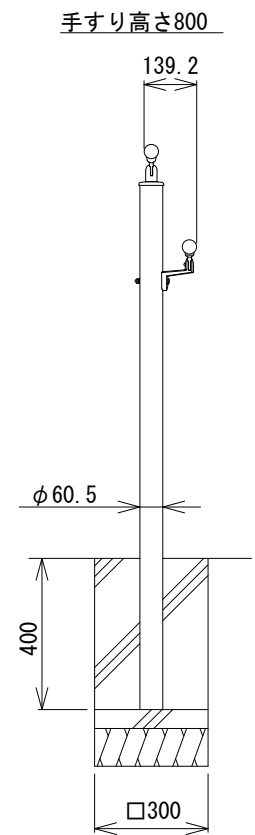
屋根伏図 1/50



立面図 1/50



立面図 1/50



ボルト・ナット・座金	ステンレス (SUS)
⑨ SB38 ﾌｰﾙ端部ｷｬﾌﾞ	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
SB38 端部ｷｬﾌﾞ	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
⑦ ｱﾙﾐ端部ｷｬﾌﾞ	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
SB34 端部ｷｬﾌﾞ	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
⑤ 直付金具	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
④ 支柱ｷｬﾌﾞ	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
③ SB支柱C (11)	ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ (ｱﾙﾐﾌｻｲﾄﾞ)
② 手すり38	木粉入S A+アルミ押出形材 (木目調+陽極酸化・塗装複合皮膜)
① 手すり34	木粉入S A+アルミ押出形材 (木目調+陽極酸化・塗装複合皮膜)
主要部材	仕様 (材質・塗装)

備考	

訂正	月 日
	月 日
	月 日
	月 日
	月 日

株式会社 徳留設計事務所	
住 所	〒893-0014 鹿児島県鹿屋市寿五丁目9番6号 TEL 0994-44-9785
登録番号	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 1-1-65

一級建築士登録 第292526	
徳留 勇	
製 図	構 造
計 画	担 当
検 図	

工事名	国立療養所星塚敬愛園 病棟玄関ｽﾛ-ﾌﾞ 及び屋根増設工事
図面名	上屋詳細図・手摺詳細図 縮尺 1/20・50
部局名	国立療養所 星塚敬愛園

8 / No.	
8	A-08
枚の内	
図 面 番 号	